

青少年だより かけ橋

令和3年度 第1号 <4月発行>

音更町教育委員会

子どもの成長を地域みんなで見守る

新年度がスタートしました。昨年度は、入学や進級、進学後すぐに一斉休校になったり、夏休みの期間が短縮されるなど、新型コロナウイルスの影響によって、たくさんの環境変化を余儀なくされました。

子どもたちが、風評被害や痛ましい事故や事件に巻き込まれることなく、健やかに成長することを願って、家庭・学校・地域みんなで見守り、育てていきたいものです。

不審者・防犯

青少年係には、いろいろな不審者情報及び注意喚起情報が届きます。得られた情報をもとに、発生場所に対する巡視活動の強化を行っています。また、各地区の青少年対策地区指導員の巡視活動をはじめ、町内会や青少年健全育成会では、防犯パトロールや登下校時の子どもの見守り活動に取り組んでいます。地域の大人みんなの目を子どもたちに向け、不審者や犯罪から子どもたちを守りましょう。

交通安全

子どもの交通事故は、徒歩中の事故の場合、小学校低学年が多く、主に登下校の時間帯に発生しています。また、自転車走行中の事故は、小学校低・中学年の男子に多く、放課後の15時～17時頃に多発しています。街中での蛇行運転、お友だちとの横並び運転など、人通りや車両通行の少ない通りで危険な運転を時折見かけます。危険な場面を見たときには注意してあげましょう。

ネットトラブル

近年、全国的に急速に増えている子どもたちのトラブルのひとつに、ネットトラブルがあります。現在は携帯電話からスマートフォンにほぼ完全に切り替わり、機能が増えて便利になった反面、子どもたちを巻き込んだ犯罪の増加や、SNSを用いたいじめなどが表面化しにくい環境になりました。これまで、対策として「家庭内のルールづくり」や「フィルタリング設定」を呼びかけてきましたが、最も大切なことは、これらの対策を親子で話し合いながら取り組むことができる『親子関係』です。子どもたちにスマートフォンを与えるのは親の責任です。

非行防止

「深夜徘徊」は減少傾向にある一方で、「不健全娯楽」が増加しています。これは、子どもたちのライフスタイルの変化とともに非行のあり方が変化してきた可能性があり、非行行為がより見えにくくなってきています。次世代を担う大切な青少年を非行に走らせないために、規範意識を高め、社会的なマナーや思いやりの心を身につけることが望まれます。子どもとともに歩む温かい家庭環境と地域社会を築きましょう。

青少年の悩みことは青少年係へ

電話 0155-42-5855 平日8:45~17:30

青少年係 主な活動内容

子どもたちが安全・安心な社会環境の中で、心身ともに健やかに成長することを願って、家庭・学校・地域・関係諸機関のご理解とご協力をいただきながら以下の活動を行っています。

1 巡視活動

- (1) 啓発巡視 町内中心街、住宅街、駒場地区を中心に広報車による啓発と巡視
- (2) 一般巡視 大型店、公園、学校周辺、通学路等の巡視
- (3) 特別巡視 夜間巡視；毎月1回、公園や大型店舗、遊戯施設等の巡視
休日巡視；毎月1回、土曜日又は日曜日の巡視
- (4) 地区内巡視 町内5地区（音更、共栄、下音更、緑南、駒場）の青少年対策地区指導員が各地区内の巡視を行います。一般巡視（毎月2回）、特別巡視（随時）

2 通報・相談活動

- (1) 不審者や変質者の出没等の通報受理と関係機関への連絡
- (2) 青少年の悩み相談
家族や自分自身のこと、交友関係など、青少年の問題について相談を受けています。

3 広報活動 広報紙「かけ橋」を毎月発行します。（偶数月；町内会配布）（奇数月；学校配布）

4 学校訪問 学校との情報交換と連携を図っています。（年間2回）

5 放課後子ども教室の取り組み

音更小学校、下音更小学校、柳町小学校、駒場小学校、緑陽台小学校、鈴蘭小学校の6校に加え、今年度から木野東小学校においても放課後子ども教室を実施することになりました。今年度の開催につきましては、決定次第、学校を通じてご案内させていただきます。

- 参加対象者；小学校1年生から6年生までの児童
- 実施期間；5月から2月まで（各会場年間12回程度）
- 実施時間；午後2時（または午後2時30分）～午後4時まで
（11月～2月は午後3時30分まで）

6 その他

- ・有害環境の浄化活動、地区青少年健全育成会との連携
- ・教育推進員、学校教育相談員との情報交換（毎月1回）

町内の不審者情報件数について

令和2年度、青少年係が受理した不審者等情報で緊急性の高い通報件数は、合計で2件（令和3年3月11日現在）でした。最近では、報告の数そのものが減少傾向にありますが、このことが子どもたちの安全・安心を担保するものではありません。特に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、子どもたちが自宅で留守番をする機会が増えたことや、スマートフォンやSNSの普及により、通常の見守り活動だけでは見つけられないケースが増えたと考えられるためです。

今後も、決して油断することなく、家庭・学校・地域みんなで警戒していきましょう。

	音更地区	下音更地区	共栄地区	緑南地区	駒場地区	合計
平成30年	0	5	0	5	0	10
令和元年	0	1	1	2	0	4
令和2年	1	0	1	0	0	2
合計	1	6	2	7	0	16